



実験室 人形劇

江戸系あやつり人形結城座



結城座と「人形劇」について考え、実験する9日間



■開催日程 2025 年

11/21(金) 17:30 ~ 21:00

22(土) 13:00 ~ 16:30

23(日) 13:00 ~ 16:30

12/12(金) 17:30 ~ 21:00

13(土) 13:00 ~ 16:30

14(日) 13:00 ~ 16:30

19(金) 17:30 ~ 21:00

20(土) 13:00 ~ 16:30

21(日) 13:00 ~ 16:30 ★発表会

■参加費 2,000 円 (9 回分)

※開講日に現金にてお支払い下さい。

■開催場所

結城座スタジオ

〒184-0015

東京都小金井市貫井北町 3-18-2

■参加資格

(下記に1つでも当てはまる個人・団体)

- ・江戸系あやつり人形に興味関心がある方
- ・現在人形劇を上演している方
- ・これから人形劇を上演したいと考え、計画のある方

■応募方法

応募期間：9月1日(月)～11月17日(月)

結城座 HP より下記書類をダウンロードの上
メールまたは郵送にてお送りください。



結城座HP

①出願書

②上演会で上演したい演目の計画書 または
自身の活動内容が分かる資料

※上演演目は「人形」を使用していれば形式は問いません。
※自身の活動内容が分かるような資料は舞台映像 / チラシ・パンフレット / ポートフォリオなど形式は問いません。また、活動内容は人形芝居に限りません。(演劇、映像、美術、ダンス、etc...)

390年という長い歴史を持つ結城座は、その時代に合わせて様々な「実験」を繰り返し、人形と人形遣いの独特な関係を築いてきました。それらの技術や考え方は、糸あやつり人形に限らず、これから人形劇をやってみたい方、現在すでに人形劇をやっている方にとって、とても興味深いものではないでしょうか。小金井にある結城座スタジオを「実験室」として、参加者が江戸糸あやつり人形を学び、「人形劇」について考え、様々なことを「実験」できる事業を企画いたします。少しでも、「人形劇」に興味のある方に是非ご参加ください！

STEP 1

江戸糸あやつり人形を
体験しよう！

糸あやつり人形がどのような構造で、どのように動かしているかご存知でしょうか？

人形の構造を解説しながら、手板の持ち方から糸の場所まで、丁寧に結城座人形遣いが指導いたします。足踏みをする、手を動かす、などの基本動作に加え、人形を動かしながら台詞を言うことにも挑戦します。

講師：両川船遊／結城孫三郎／結城育子

STEP2

人形劇について考えよう！

「そもそも人形劇ってなんだろう？」
「今自分がやっている人形劇についてプロの意見が聞きたい！」
「こんな仕掛けの人形を作ってみたいけど、どうしたらいいんだろう？」
などなど、人形劇について結城座人形遣いと意見交換会を行います。その後、実際に人形を動かしながら、人形劇の「実験」をしてみましょう。

講師：両川船遊／結城孫三郎／結城育子
特別講師：加藤直

STEP3

実践してみよう！

STEP1・STEP2で考えたことを、実際に舞台上で実践してみましょう。結城座スタジオに舞台を組み、お客様をご招待して「上演会」を開きます。終演後は、お客様からも感想を聞ける交流会を開き、今後の活動にフィードバックできます。

講師：両川船遊／結城孫三郎／結城育子
特別講師：加藤直

講師
紹介人形遣い
結城孫三郎人形遣い
結城育子

加藤直 劇作家・演出家

1966年劇団俳優座付属養成所卒業。70年に黒テントの創立に参加。80年代中頃からオペラ、演劇、ミュージカル、コンサート、合唱などの作・演出を開始。80年代から現代にいたるまで結城座の人形芝居の作・演出を多く手掛けている。

人形遣い
両川船遊

十代目結城孫三郎(故 結城雪斎)の次男。幼少より日舞を習い、4歳で初舞台。11歳から武智鉄二歌舞伎教室に入門したほか、能は観世栄夫、狂言は茂山千之丞の教えを受ける中、人形遣いの修行も重ねる。1972年三代目両川船遊、1993年十二代目結城孫三郎を襲名、以降二つ名前でも結城座を牽引。2021年6月、長男が十三代目孫三郎を襲名。以降も両川船遊として公演や人材育成に精力的に活動している。2024年に名誉都民の称号を得る。

結城座 YOUKIZA SINCE 1635
寛永十二年旗揚げ 江戸糸あやつり人形劇団 公益財団法人 / 国記録選択無形民俗文化財及び東京都無形文化財指定

〒184-0015 東京都小金井市貫井北町3-18-2

TEL:042-322-9750(平日10:00~17:00)

MAIL:info@youkiza.jp

HP:https://youkiza.jp/▶



江戸時代の寛永12年(1635)年に初代結城孫三郎が旗揚げし、幕府公認の一座となりました。以来、現在の十三代目結城孫三郎まで400年近い歴史を持つ。国と東京都の無形文化財でもある「江戸糸あやつり人形」の劇団です。17年以上の糸と、「日本式」「結城式」と呼ばれる結城座独自の構造を持つ操作盤「手板」で、日本ならではの繊細で表情豊かな表現と可能にしました。現在では「伝統と革新、古典と新作の両輪」を活動指針に掲げ、古典公演はもとより、新作・写し絵・海外公演等、世界数十か国に及ぶ公演を重ねています。